

○調査項目概要（令和7年度）

調査項目	設問区分	質問数	調査内容及び活用方法
基本属性	独自項目	4	○本人の年代、性別、居住地域、要介護（支援）度 ⇒基本情報
問1. 家族・生活状況	調査票例より	4	○家族構成、介護・介助の必要性、経済状況 ⇒基本情報
問2. からだを動かすこと	調査票例より	9	○階段昇降、立ち上がり、連続歩行、転倒、外出 ⇒運動器機能の低下・転倒リスク・閉じこもり傾向の把握
問3. 食べること	調査票例より	8	○身長体重、固いものの食べにくさ、むせ、口の渇き、歯磨き習慣、歯・義歯の数、体重減少など ⇒低栄養の傾向・口腔機能の低下・孤食の状況を把握
問4. 毎日の生活	調査票例より	6	○物忘れ、乗り物の利用、買い物、食事の用意、請求書の支払い、預貯金の管理など ⇒認知機能の低下・IADL（自立した日常生活をおくる能力）の低下を把握、老健式活動能力指標※の算出
問5. 地域での活動	調査票例より	3	○各種グループ・サークルや町内会等への参加頻度、参加者・世話役としての参加意向 ⇒地域づくりへの参加意向を把握
問6. たすけあい	調査票例より	4	○心配事や愚痴を聞いてくれる人、看病や世話をしてくれる人など ⇒たすけあいの状況、うつ傾向の発生リスクを把握
問7. 健康	調査票例より	6	○健康状態、幸福度、気分の落ち込み、物事に対する興味、喫煙、治療中・後遺症のある病気 ⇒主観的健康感、幸福感、うつ傾向、要介護状態になるリスク（喫煙・病気）の把握
問8. 認知症・MC I （軽度認知障害）	独自項目	10	○認知症・MC I・相談窓口の認知度、診断・診断後支援の状況、認知症への理解 ⇒認知症・MC I・相談窓口の認知度の把握、診断・診断後支援の状況の把握、認知症への理解の把握
問9. 制度・事業	独自項目	11	○介護保険料に対する考え方、介護予防事業・フェニックスネットの認知度、通いの場への参加意思、介護予防・生活支援サービス事業の認知度、地域包括支援センターの認知度、フレイル予防調査 ⇒次期介護保険料の検討、一般介護予防事業・フェニックスネットの普及啓発方法の検討、総合事業（通いの場）の環境調整、介護予防・生活支援サービス事業・地域包括支援センターの周知検討、フレイル予防の事業検討
問10. 今後の暮らし	独自項目	2	○要介護になった場合の住まい、望むこと ⇒要介護になった場合に希望する生活スタイルの把握

※老健式活動能力指標

手段的自立、知的能動性、社会的役割の観点から、家庭内で日常生活を自立して行うための能力を測定する指標。全国平均や他の自治体等における調査結果との比較が可能。